

765 ライブシアター 公演記録

(速報版)

佐倉羽織



アイドルマスター ミリオンライブ シアターデイズ fan book

765ライブシアター 公演記録(速報版)

2018年7月25日 18時公演

チームP 1st 「Princess Be Ambitious!!」公演

本日のトピック

- 松田が定期公演出演100回を達成。Pでは九人目。
- 田中が体調不良のため急遽休演。チームF周防が初アンダー。
- キャン待ち当選 対内4人、対外2人

アンダー情報(初日基準)

全体曲

田中↑高坂↑周防(チームF)

ユニット曲

田中↑周防(チームF)

影アナ

福田「本日は765プロライブシアターにご来場いただきまして誠にありがとうございます。開演に先立ち、お客様にいくつかのお願いを申し上げます。開演中椅子の上に立ったり、ご自分の席を離れて前に駆け出したりしますと大変危険です。

また、やむを得ない場合を除き、公演中に席を立てて移動する行為は他のお客様のご迷惑になりますのでおやめください。本公演の動画、静止画での撮影、及び録音等の行為は禁止させていただきます。ただいております。

携帯電話のご使用は進行の妨げになる場合がございますので、必ず電源をお切りください。

館内での飲食は禁止です。本公演は休憩時間がございますので公演中の喫煙所の使用もお断りさせていただきます。あらかじめご了承ください。

ペンライト、うちわ、メッセージボード等のご使用は両隣、それから後ろの席の方のご迷惑にならない範囲でお願いします」

福田「（一呼吸）みなさん、準備は出来てますか？」

（客席反応）

福田「今日は琴葉がお休みで、ちょっと心配なんですけれど、桃子の力も借りて楽しい公演にして行きたいと思います」

(客席反応)

福田「以上、チーム Princess 福田のり子でした。もう少しだけ待っていてね」

※ M01 MUSICi (各チーム共通) M02 Birth of Color M03 HOME, SWEET FRIENDSHIP

MC01

福田「みなさんこんばんは」

一同「ミリオンシアター、チーム Princess です(客席に礼)」

福田「ミリオンシアター、チーム Princess『Princess Be Ambitious』公演』が始まりました。まず最初に、MUSICi Birth of Colorそして HOME, SWEET FRIENDSHIP の三曲を聴いていただきました。もりあがってますかッ(右腕をつきあげる)」

(メンバー、客席歓声)

福田「ありがとうございます。それではお題に沿って一人ずつ自己紹介をさせていただきます。今日のお

「題は最近うれしかったこと。奈緒から」

横山「まいど、横山奈緒です。いえーい。みんな元気でいいですね。私はね、この間テレビのバラエティー番組に出させていただいたときのことなんですけど、こっちでいうと富士山テレビの、ホッケ師匠のやつ。見てくれた人います？　ぎょうさんおるね。ありがとう」

横山「もう放送終わったんで、自由に話すんですけど。私、二回目やったんですよ、一回目は半年前なんでホッケ師匠覚えてへんやろなって、私のこと。収録大阪やってんで、私お土産もってったんですよ、東京駅で大阪のお土産って書いてるのをね。大阪では売ってへん奴。楽屋挨拶に行ったら、師匠わろうてくださって、『よりによってこれか、あかん東京の空気に染まってしまったか君は』って。本番で「横山。すっかり東京に染まってる横山」って振ってくださいって、『そんなことないですね』って東京のアクセントで言ったのが。あれ、今のあってる？　もうわからなくなってもたわ。とにかくそれがうれしかったです。そんなかんじで。今日も大阪魂を忘れずに通天閣のように突き抜けます。おおきに」

高山「高山紗代子、17歳です。よろしくお願いします。私もTVの話なんですけど。私は見るの方の話で。この間レッスンが早く終わって、いつもより早く家について、普段見ない夕方のニュースを見たら、部活頑張ってる子の話をしていて。こうやって紹介してもらるのは励みになるし、い

いことだなとおもいました。わたしも負けないうように頑張ります。よろしくお願いします」

福田「はい、福田のり子です。このお題を聞いたときに、これしかないじゃんと思って。こないだのタイトルマッチ見た人います？ えーみんな見ようよプロレス。もうね、オカモト・カズヒコ選手のね。あー、えー。私の語彙力じゃうまく伝えられない。月額1,000円でネットで見られますので、みんなプロレスチャンネル契約して、是非自分の目で見たください。あれ？ 宣伝になっちゃった。自分でてるわけじゃないのに。まあいっか。そんな感じで」

佐竹「(福田を見て)え、もういいの？(福田、どうぞのジェスチャー)では。佐竹美奈子、18歳です。私はうちのお店での話なんですけど」

福田「実家の中華料理店のね」

佐竹「そう。佐竹飯店。アイドルになってからはあんまりお店に立つ時間がなくてさみしいんですけど、なかなか立てないので新メニューだけでもって思っているいろいろ考えて。で、常連さんの反応を後で聞くんですけど、大好評だったときはうれしくなります。はい、今日もわっほーい！と盛り上がりましょう。よろしくお願いします。次は、百合子ちゃんです」

(一列目、下手ハケ。二列目前に進む)

七尾「七尾百合子です。私は本屋さんなんですけど、最近お仕事で行った先とかで初めて行く本屋さ

んが楽しみで。小さな本屋さんでも本の並べた方とか結構違うじゃないですか。なんで今までこの本見つけられなかったのかなっていう小説に結構出会えるじゃないですか。わかります？わかりますよね。店頭で平らにおいてあるのも手書きの説明とか楽しいんですけど、奥の本棚に意味ありそうに並んでる中から探して、読んでみて、これいいなっていうのを探すが、宝探しっぽくて嬉しいですよ」

松田「ありさはアイドルちゃんなんですけど。なんで笑うんですか？ あ！ ありさがアイドルってことじゃなくてですね(客席から、そんなことないよーの声)えええ？ これはどうしたら……」

中谷「アイドルな亜利沙さんが、他のアイドルさんを見て嬉しくなったって事？」

松田「ああっ、そうですそうです。育ちゃん女神様です。ありさ一生着いていきます。はっ！ そうでした。もどります」

松田「ありさはアイドルちゃんなんですけど……ひょえーループしてる。えーと。自分の好きなアイドルちゃんの存在が嬉しいんです。よし。わかりますよね？ よかった。皆さんもだと思わなくて、ありさ、こうしてアイドルちゃんやってるのも色々なアイドルちゃんが目の前に現れてくれたからで、ありさ、基本DDなんですけど、その中でも一推しってありますよね？(亜利沙が一推しだよの声)、ひゃっっ口コちゃん推しの方気を遣っていただいてありがとうございます」

まず、今日はPrincess公演ですけど大丈夫ですか？（客席笑い）あー。えーと。ちょっと落ち込んだときは一推しのアイドルちゃんの映像を見ながら元気を貰ったりしてます。今日もよろしく——（オフマイクで呼ばれたのか後ろを振り向く）」

周防「（マイクをあげて）亜利沙さん名前言い忘れてるよ」

松田「（客席に向き直って）松田亜利沙です、でした。よろしくお願いしました（頭を下げる）」

（中谷、笑ってしまつて話せない）

高坂「育りん大丈夫？ 私先にやろうか？」

（中谷、手のひらを左右に振つて、高坂を止め、深呼吸する）

中谷「すみません。中谷育です。よろしくお願いします。わたしは、この間桃子ちゃんと原宿に行った話なんですけど」

（中谷、周防を見る）

周防「オフの日にね」

中谷「そう。桃子ちゃんとチーム違うから、あんまりスケジュール一緒にならないんだけど、その週はレッスンとお休みが被つて、ずっと食べたかった焼きたてメロンパンアイスを食べに行つて。二人だけで。そうしたら、味がちょうど二種類で、二人で半分ずつ食べて。美味しいし楽しいし

で幸せになりました。(振り返り周防を見る) また行きたいね」

周防「スケジュールが合えばね」

中谷「(客席に視線を戻して) 桃子ちゃんの許可が出たので、今が一番幸せです。今日も元気に飛び跳ねます。よろしくお願いします」

高坂「高坂海美ですつ。私はね、マリンスポーツ全般好きなの？ 意外？ そうでもない？ この間急に思いついてもう我慢できなくて、ウエイクボードしに行ってきたんですよ。それが楽しかった話と思うでしょ？ 違うの聞いて！ オーディションの前日だったの、それで、見事に日焼けしちゃって。文学少女の役だったから、プロデューサーに叱られてへこんでたの。落ちちゃったし。でもでも、監督から別の役の打診が来たの、すごいでしょ？ これ言っているのかな？ 解禁前かな？ わかんないから、えっと、詳しくはママで。くー、これ言ってみたかったんだあ。あー満足。幸せ。それじゃあ、今日も張り切っていきましようー！」

徳川「はいほー。徳川まつりでなのです。姫は幸せでない瞬間はないのです。なのでこの質問は難しいですよ。でも、ちゃんと答えるですよ。皆さんに生誕祭の時にいただいたお花を、妖精さんにお願ひして綺麗なままにしてお城に飾っているのです。目を覚ますとすぐに見えるのです。まつりの幸せは毎日そこから始まるのですよ。ほ？ ドライフラワーって言うのは何なのですか？

よくわからないのです。きょうもわんだほーな公演にしてみました。次は周防の桃子ちゃんなのです、どうぞ！」

(二列目、下手ハケ。三列目前に進む)

周防「もう、やりにくいなあ。Fattyから来ました、周防桃子です。ほんのちよつとだけ緊張しています。ちよつとだけね。桃子はずっと他のチームの公演に出たいて言っていて、こうやって頼られて、他のチームの公演にでて、いつもと違う表情とかそう言うのを見てもらって、ファンになってもえたら幸せだと思おうので。まずは今日、しっかり記憶に残る「演技」をできたらなっ
て思っています。よろしくお願いします」

エミリー「ごヒイキ様方、こんばんは。エミリー・スチュワートと申します。よろしくお願いいたします。(深く礼)さて、私が幸せになったことですが、こうして大和撫子としてごヒイキ様方の前で舞い踊ることは当然幸せな事なのですが、もう少し個人的な事で申しますと、先日妖精組の紬さんにお誘いいただいて、金魚展覧会付き喫茶店に行ってまいりました。猫放牧喫茶店と違って、自由に金魚に触れることはできないのですが、紬さんは予約をしてくださって、紬さんの推し金魚の水槽の近くの席でゆつくりとお時間を過ごしながら、抹茶渦巻き生乳冷やし菓子をいただきました。普段見せないような紬さんの表情に大変心が温かくなりました。ごヒイキ

の皆様方の心にも今日の特別な体験が残りますよう、他の者と一緒に精進してまいりますので、ご声援のほどよろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございますございました(深く礼)」

春日「はい、春日未来でーすうーう、いいい。ありがとうございます。今日もよく見る人がたくさん嬉しいな。あ、嬉しかったことですよ。なんだろうな。あ、そう、こないだ小テストでなんか100点取りました！ え、薄いですか？ 薄いかな？」

周防「薄い、とおもうよ」

春日「私的には大事件なんだけど。んーんーんー考えても学食のメニューとかの話になっちゃうので、やめておきます。みなさん、今日は明るく楽しく、声を出していきましょう！」

矢吹「はいっ。やっぶきかなー♪今日も歌うよやっぶきかなー♪今日も元氣だ矢吹可奈あーあー♪。一緒に歌っていただいてありがとうございますっ 矢吹可奈でーすっ。可奈は本当に本当に小さな幸せなんですけど、今日楽屋でジュース飲みたいなって思って、自動販売機の所に行ったら、お財布忘れてたことに気がついて、がっくりしてたら莉緒さんか当たり出したら分けてくれるって言って、何本か買ったんですけど当たらず。でも頑張ってくれたから私もなんか気分が明るくなって、二人で『すぐに当たったら苦労しないよね』『楽屋戻ったら払いますね』て話をしていたら、通りがかりのジュリアさんが無言でコイン入れて、タイピングを見てボタンを押し

て。そしたら一発であたって！『可奈、好きな飲みな』って言ってきて。もうなんかうれしくて。お札に気持ちを歌って返そうと思ったら『おっと、そいつはもっと大事なときにとつきな』って言って去って行ったんですよ。かっこいいですよ。なんか漫画の主人公になったみたいでうれしくなりました。はい。今日も♪私らし〜く元気に頑張ります♪」

矢吹「はい。本日の公演は以上13人でお送りします。みなさん、盛り上がる準備はできてますか？」

(3人、客席にマイクを向ける、客席から歓声)

エミリー「おや？ 今日のごヒイキ様方、そんな感じですか？」

(客席大きな歓声)

周防「まだまだいけるよ！」

(さらに大きな歓声)

矢吹「ありがとうございます。その調子で声出していきましょう。次は様々なユニットのコーナーで

す。どうぞ！」

(3人、足早に上手にハケる。暗転)

※ MO5 ビッグバンズバリボー 三三

横山、高山、福田、佐竹

※ M06 透明なプロローグ

七尾 BD 松田、中谷、高坂、徳川

※ M07 Episode: Tiara

春日、矢吹、田中

※ M08 だってあなたはプリンセス

徳川、エミリー

※ M09 アニマルステーション

中谷（ペンギン）、松田（ライオン）、高坂（ゾウ）

BD 福田（イヌ）、横山（ネコ）

MC02

横山「ビッグバンズバリボー!!!、透明なプロローグ、Episode: Tiara、だってあなたはプリンセス、そ

してアニマルステーション。五曲続けてきていただきました。アニマル組再結成ですけれども」

中谷「なつかしい」

横山「まあ、私はね、歌割なくなっただけですけども」

福田「んなこといったら、ワタシは上下入れ替わっただけだよ」

中谷「ねえ、みて！（と言ってペンギンワンピースの裾を指さす）こんなに丈が短くなってるの」

高坂「育りん成長してんだね。前をよく憶えてないけど」

横山「せやろか？ そんなあんまり変わってるようにみえへんけど」

松田「いやいやいやいや、かんぜんに違ってますよ。ありさが言うのだからまちがいはないですよ」

中谷「だよね」

高坂「ねえねえ、『再結成』って言ってたけど、ユニットチェンジ後は名前変わったの？」

横山「話飛ぶな、んー」

福田（横山の顔を見て）「アニマルステーションユニットメンバー」

横山「だって、まつりと美奈子やん、全員大人よ？」

高坂「まつりんそういうノリ好きそうじゃん、じゃんじゃん」

福田「いやいや、まつり、ああ見えて——何？^{なん}」

（横山と福田が上手袖を見る）

横山「こっちのぞいてんやんか、圧力？」

（徳川、袖から顔だけ出して客席に視線を送ったあと、オフマイクで手を左右にひらひらさせて

引込む）

福田「圧力じゃないってさ」

中谷「わたしはまつりさんのペンペン好きだなあ」

横山「美奈子もほめたって。あれで本人気にいってん」

中谷「ガオーは、美奈子さんも亜利沙さんも同じぐらい好き」

松田「銃で撃たれたようなりアクションで胸を押さえて膝をつきながらぐはあ、育ちゃん女神様ありがとうございます」

横山「自分を指さしながら）パオーンは？」

中谷「海美さん」

高坂「いえーいー」

横山「ほんま賢い子やでランプついてんもんな。といつわけ『Princess Be Ambitious!!公演』まだまだ続きます。次はこの曲です」

(M09 メンバー手を振りながら足早に上手にハケ、暗転)

※ M10 PRETTY DREAMER´ M11 Starry Melody´ M12 Princess Be Ambitious!!

MCSA 横山、佐竹、春日、徳川、高坂、エミリー

(情報が入り次第追記します)

MC3-B 福田、高山、七尾、矢吹、田中、中谷、松田

(情報が入り次第追記します)

※ M13 合い言葉はスタートアップ / 本篇終了

MC04

福田「アンコールありがとうございます」

一同「ありがとうございます」

福田「Growing Storm! Justice OR Voice。二曲続けて聞いていただきました。ここでメンバーに今日の公演の感想を聞いてみたいと思います。んーと、今日急遽出演してくれた桃子」

周防「はい。桃子は去年一回 Princess 公演の振り入れには参加したんですけど、ずっとでるタイミン
グがなくて。昨日急にでるって決まっばたばた振りV見直したりしました。育に聞いたり」
(中谷ちよつと自慢げな笑顔でうなづく)

周防「でも急遽だったのであんまりいいたくないんだけど、色々納得いかなかったこともあるし、
琴葉さんには早く元気になって貰って、もう一度ちゃんとした形で出演出来たらなって思いま

す」

中谷「今度は一緒にユニットやりたいな」

周防「(少し考えて)『だってあなたはプリンセス』だったら」

福田「それじゃあ育も憶えないとね」

(中谷、オフマイクで手を上げて返事)

福田「では」

福田「次が本当に本当に最後の曲になります」

(客席の「えー」の声に反応せず)

福田「私たちは6月に初めて舞台上に立ち、12月にチームPrincessとして集まって、メンバーとファン
の皆さんと一緒に色々乗り越えてきました。いつでも私たちの原点であるこの劇場のことを忘
れないために、この曲を歌いたいと思います」

福田「ココロが帰る場所」

MC05

福田「本日はご来場いただきましてありがとうございますございました」

一同「ありがとうございました」

福田「このあとは感謝の気持ちを込めましてロビーにてお見送り会を行わせていただきます。参加ご希望の方は退出時にスタッフにお申し付けください。また、ロビーにてグッズを販売していますので、本日来場の記念に是非お立ち寄りください」

（客席、「はい」の合いの手）

福田「今、はいつていつた人は必ず寄るように。お願いしますよ。さ、それでは最後の挨拶をみんなですましよう！」

メンバー、一列になり手をつないで一拝礼。

挨拶の最中に客席より「亜里砂ちゃん、（定期公演出演）100回目おめでとうの声」

一同「ありがとうございました」

舞台上でそれぞれファンに挨拶をしてハケる。

いったんはけた松田を誰かメンバーが舞台上に押し出す。

客席歓声。

松田「^{かみて}上手立ち位置番号3番あたりで）あの、ありさずっと一生懸命で。100回っていろいろのはAngelも含めてですか？ ですよね？ こんな、歌もダンスもうまくないありさはアイドルちゃんと

してはダメダメなのかも知れませんが（そんなことないよーのコールを受け泣き顔になるも、もちなおして）まだまだ頑張りますんで、一緒に着いてきてくれると嬉しいです。今日は本当にありがとうございます」

松田笑顔で手を振りながら下手にハケて終演。

感想

初めて3巡で当選し、前方で見たい気持ちもあったのだが涙をのんで定位置へ。

周防が前半曲で普段の「Felix」公演ではみせないようなちよつと不安そうな表情を見せる瞬間があったのだが、若干周囲に助けられていたものの、安定のパフォーマンスをみせていた。

その周防とプライベートで仲がよい中谷が定期公演では初共演だからか、曲中を含め終始テンションが高かった。

スライドアンダーの高坂は細かい振りミスがみうけられた。気持ちの前に出すぎているのかもしれない。チームPは休演対応時でもスライドアンダーをおかないことが多いので経験が不足しているのかも知れない。

松田はこの日で出演100回達成とのこと(生誕委しらべ)。現状アンダー出演しているPrincessメンバーの中で唯一Early公演にでられていないメンバーなので、達成は遅かった。歌割のないときにオフマイクでコールを入れていて歌割に間に合わなかったりと若干集中力に欠けるところもあるが、熱意はシアターいちだと思うので、これからの成長が楽しみなメンバーの一人。

速報版あとがき

おかげさまで佐倉としてはお嬉しいお言葉をいただきました。これは早急にMC3を書かねばと思って、まずは誤植潰し。と言うところで重大なことに気がつきました。春日未来ちゃんの自己紹介MCがない！それはアカンやろと言うことで、例外中の例外として、頒布翌日に、急遽公開します。すみません。あれですね。レポートサイトでよくある速報版と言うことで。いずれMC3もちゃんと書いて世に出しますので。

佐倉、ずっとデレステとかデレアニの二次創作を書いていて、でもメインにプレイするのはミリシタというねじれもあり、とにかく智絵里ちゃん物語はしっかりと完結させつつ、ミリシタでは(架空)公演レポートをマイペースに書いていこうかなと今は思っています。

佐倉、アニメレ、ミリシタのファンと同時に、実在するアイドルである、HKT48のファンでもありません。Documentary of the シリーズとか、CloverDaysとかは、そっちで入手した情報をフル導入して書いていたりするのですが、いつかミリシタを書くときは劇場公演を書きたいなど思っていたのと、キャラクターの把握のための試し書きが悪魔合体したものが本作になります。

地の文の形式は、劇場記録のブログ風の表現にしたかったので、ミリシタで一般的と思われる表記で

はなく、名字で統一しました。

というわけで、この公演レポの正式版、もしくはそのほかの公演レポ (Fairy とか Angel とか) で、またお目にかかれたら幸いです。

令和元年 8 月吉日 佐倉羽織拝

奥付

765ライブシアター 公演記録（速報版）

2019年 8月11日 初版発行

2019年 8月12日 速報版発行

筆者 佐倉羽織

発行者 佐倉羽織（マドカミ町奇譚）

<http://circle.fairies.jp/>

装丁 松城 慧（桜月奇譚）

印刷所 あなたのプリンター

乱丁・落丁本については自己責任ですので、印刷した人が対応してください。



